



わかみどり

<http://hirabayashi-e.murakami.ed.jp>



平林小学校 校長 遠藤 直人

新しい年のスタートにあたって — 校内書き初め大会を実施しました —

穏やかな新年を迎え、子どもたちの元気な声が学校に戻ってきました。2026年も、子どもたち一人一人が安心して学び、成長できる学校づくりに教職員一同、力を尽くしてまいります。本年もどうぞよろしくお願いいたします。

さて、1月9日（金）には、校内書き初め大会を全校で実施しました。各教室には静かな緊張感が漂い、子どもたちは真っ白な半紙と向き合い、一文字一文字に心を込めて筆を運んでいました。

書き初めは、文字の上手さだけを競うものではありません。これまでに学んできたことを思い出しながら、姿勢を整え、集中して取り組む中で、自分自身と向き合う大切な時間でもあります。思うように書けず、何度も書き直しながら納得のいく一枚を仕上げようとする姿からは、粘り強さや向上心が感じられました。



3学期は「バックアップの時期」です — チームで支え、「自律した学び手」を育てる —

3学期は、1年のまとめであると同時に、子どもたちが次の学年へと歩み出すための大切な準備期間です。本校では、**「自律した学び手」**の育成を学校教育の柱とし、学びを次の3つの段階で考えています。

① リード期「教師がきちんと教える」

知識や技能の習得、学習への興味付け、学び方のスキルなど、学習の土台を教師が責任をもって示します。

② サポート期「子どもたちに寄り添う」

子ども一人一人の様子を丁寧に見取り、適度な指示や声かけを行いながら、学びを支えます。

③ バックアップ期「手を離しても目を離さない」

そして3学期は、このバックアップ期です。

本校で実施しているチーム担任制のもと、複数の教員が子どもたちの学びや生活の様子を共有し、個々の取組に目を配りながら支援を行っています。その一方で、すぐに手を差し伸べるのではなく、子ども自身が「どうしたらよいか」を考え、行動する経験を大切にしています。

私たちは、困る前に用意をしたり、先回りして支援したりすることも必要だと考えています。しかし同時に、困ったときにこそ自分で考え、選び、行動する力が、「自律」の力につながると考えています。あえて答えを与えず、考える時間を保障することも、大切な支援の一つです。

ご家庭におかれましても、家庭学習で「何をしようか」と迷っている場面では、すぐに答えを示すのではなく、ぜひ見守ってあげてください。そして、たとえうまくいかなかったとしても、自分で考え、取り組んだことそのものを認め、励ましていただければと思います。

学校ではチームで、家庭では見守りで。同じ方向を向いて支えることで、3学期は子どもたちが大きく成長する時期になります。引き続き、ご理解とご協力をお願いいたします。

保護者の皆様、地域の皆様からのご意見お待ちしております。下記のフォームの QR コード、リンクからお寄せください。

平林小学校ホームページ

<http://hirabayashi-e.murakami.ed.jp/index.html>

引き続き、下記のリンク・または QR コードからご意見・ご質問をフォームでお聞かせください。お電話等でも随時、お待ちしております。

<https://forms.gle/hQwLNPLjjAzfwkV57>

